

収穫の秋喜びも半減!?

農作物大打撃

新聞等で皆さんも御存じのとおり、稲の作況指数は、全国平均で七十五ということで、十二月の最終確定ではさらに悪化するかもしれないということなのです。

河辺でも、今年の夏の天候は、例外ではなく、台風による災害、長雨による日照不足等農作物にとって、我々人間にとっても大打撃をうけました。

下の写真は、コンニャク芋の収穫風景ですが、ここでも、「今年はいけん。葉が早よう枯れて」という声を聞きました。

河辺では、高齢化人手不足に対応するため、比較的軽作業で栽培できるコンニャクを導入し、平成二年からコンニャク芋生産組合が発足しました。現在の組合員は五八名で約四ヘクタールで栽培されています。

比較的軽作業と前記しましたが、それでも芋掘りは大変な作業です。この農家では、テラーで芋をすきおこし、収穫されていました。



〈上大成 コンニャクの収穫〉



(とじて保存しましょう)

'93 10 月

発行

河辺村公民館

☎ (0893) 39-2111

内線 205・206

佐川印刷 KK

吉田町北小路

☎ (0895) 52-0600

人のうごき

(平成5年10月1日現在)

世帯数 553戸

男子 775人

女子 788人

計 1,563人

H 4. 10. 1~1,633(△ 70)

H 3. 10. 1~1,693(△ 130)

H 2. 10. 1~1,719(△ 156)

H元. 10. 1~1,750(△ 187)

S 63. 10. 1~1,796(△ 233)

やねばし

秋の祭りは、季節がよいので情趣が深い。元来、氏神祭りは春二月(または四月)と秋十一月に行なわれていたそうだが、春秋の祭りは、

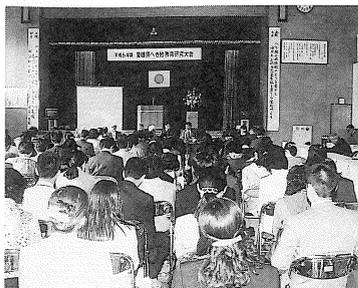
稲作の始めと終わりに際し、祈願、報恩の意を表したものである。春来た神が再臨して、田において来るのを迎え、また山に帰るのを送るのが秋祭りである。近年は、十月に行なうところが多くなっている。

十月のことを「神無月(かみなづき)」という。全国の神様が出雲に集まって地方にいなくなるからだそう。なぜ十月に集まるのかというと、十月二十六日がイザナギノミコトの命日で、神様がこぞって酒作りをするからだそう。地方出発が九月三十日、帰ってくるのが十月三十日と、細かい日程までわかっている地方もある。おかげで、出雲地方だけは、十月を「神有(かみあり)月」と呼んでいる。もつとも、神様がみんな出払っては心細いといつて、留守番の神様を決めているところもある。それを恵比須神にしているところが多い。河辺の神様はいかが?

へき地教育研究大会開催

去る十月十九日、二十日の二日間にわたり、河辺小・中学校を会場として、平成五年度「愛媛県へき地教育研究会」が県下各地から約三〇〇名近くの先生方をお迎えして、盛大に開催されました。

第一日目は、小・中学校に分かれて行なわれ、「へき地小規模校のよさを生かし、活力あふれる児童生徒を育てる学校づくり」を大会主題とし河辺小学校研究主題は「一人一人が生き生きと取り組み最後まで頑張る子どもの育成」―国語科の指導を通して―とし、河辺中学校研究主題は「基礎・基本を身につけ、主体的に学ぶ生徒の育成」として二年間の取り組みを発表いたしました。



〈小学校部会〉

日程は小中学校ともに、公開授業、集会活動、分科会と続き、午後は小中別部会となり、それぞれの体育館で研究発表を中心しながら、研究協議と指導助言がありました。

第二日目は、中学校体育館にて小中合同の全大会となり、主催者のあいさつ、祝辞（大野村長さんと県教育長）のあと表彰式があり、最後に講演（演題は「教え、教えられる」）が行われました。表彰式では、へき地学校優良児童・生徒の代表に河小六年本田暁子さんが選ばれ、へき地学校児童・生徒作品入賞者（図画と書写）の代表として、河中三年福宮しげるさんと二年梅木良子さんがそれぞれ



〈中学校部会〉

れ選ばれ受賞しました。また、愛媛県へき地教育振興会長より、へき地教育功労者として矢野清盛教育委員長さんに感謝状が贈呈されました。

河辺の地でこのように大きな研究会は、初めてではないかと聞いていますが、中学校共に参会された多くの方々から素晴らしい研究会であったと、おほめの言葉を頂きました。

授業改善、集会活動等の積み上げへの努力、各種資料づくり、校舎内外の環境整備等々二年間にわたる私たちの地道な取り組みを評価して頂いたものと有り難く思い、大きな励みと致しております。これも偏に、大野村長さんをはじめとする河辺村当局、教育委員会、公民館、PTAや地域の皆様の全面的なご支援があつたことと、改めて深く感謝いたしております。

今後は、この成果を生かしてこの研究会を契機として、更に河辺村の教育が進展いたしますよう充実と発展に努力いたす所存です。

今後とも本村教育発展のためにご支援を賜りますようお願いし、お礼とさせていただきます。有り難うございました。

次は県大会・第一分団

去る九月七日（火）大洲市中村脇川緑地公園に於て、第十九回愛媛県消防操法大洲喜多地区大会が開催されました。

本村河辺村消防団からは、第一分団が小型ポンプ操法の出場しました。七月九日からの約二カ月に亘る訓練中であつた指揮者の故障、台風五号、十三号等の雨天続きの悪条件を乗り越えての出場でした。大会当日も天候はいくくの雨天となりましたが、競技は予定どおり午前九時から決行されました。最悪な冷



〈来年も頑張つて！〉

たい雨が降りしきる中、十チーム出場中一番目という超ラッキーな順番のもと操法が開始されました。「河辺村消防団第一分団只今より小型ポンプ操法を開始します。」訓練通りの力強い指揮者の号令のもと、いつもどおりの指揮者の規律、一番員の迅速な走り、二、三番員の息の合ったコンビネーションプレイがうまい具合に発揮されました。日頃の訓練の成果を十分に披露し、結果は、二年前の大会に続き、二位というすばらしい成績を修めることが出来ました。今に河辺村消防団の操法は常勝、上昇気流にどんどんのって伝統となるでしょう。来年は県大会出場です。第一分団のチームワークで勝ち得た勝利を来年につなげ、県大会の場での活躍に期待したいと思います。

選手の皆さんご苦労さま。皆さんの健闘に喜びのエネルギーを送りたいと思います。

龍馬ファン 河辺村に集う!!

「龍馬は脱藩して大きくなった。」

「河辺村は龍馬で大きくなる。」を台言葉に坂本龍馬脱藩の道保存活動に取り組んでいます。そのいっかんとして開催している「わらじで歩く坂本龍馬脱藩の道」も本年度で五回目の開催となりました。あいかわらずの龍馬人気で今年も募集定員二五〇人に対して二六〇人の参加を得て盛大に開催されました。

加者最高齢の松山市の松崎宗光氏（八十三歳）の完全踏破宣誓で開会しました。龍馬役三人の内一人は重信町の武智友花さん（二十一歳）が登場するなど、わらじで歩く坂本龍馬脱藩の道も河辺村に定着したイベントとなりつつあります。

高知はもとより、大阪、京都、九州方面からの参加者も増えて来て、全国の龍馬ファンに知られるイベントとなり河辺村のイメージアップに大きく貢献しています。

また、村内外の龍馬ファンに多大の協力を頂いております。村内では、毎年保存会役員や有志による脱藩の道清掃を老人クラブの皆さんには、竹の水筒作りに協力を頂いております。



〈なりきってます〉

村外からは、本年度は、大洲市の有田リ子様（十万円相当の商品を、同じく大洲市の田中一三様には、杖一〇〇本を、九州の福岡龍馬会高山会長には、別注の龍馬の等身大の写真を送って頂くなど、村内外から心あたたまる応援を頂いております。

敬老会

コスモスの花咲く九月十五日、敬老の式典並びに婦人会による敬老会が、村内四会場で盛大に挙行されました。

来賓多数の方々をお迎えしての敬老の式典では、村長式辞の後、米寿者五名、九十歳以上十八名、六十五歳になった人三十七名の方々に記念品の贈呈が行われました。

午後は婦人会による敬老会が行われ、多彩な演芸が続出しご老人の方の飛び入りもあり、皆さんのご満悦の様子に



〈熱演でしたノ〉

文化のない人間に魅力なく、文化のない企業に繁栄なく、文化のない村に活性化ない。今後も文化ある魅力あるイベントとして行きたいと考えております。

改めて婦人会の方々に感謝し敬服いたしました。

米寿者、九十歳以上の方は次のとおりです。（敬称略）

- | | | | |
|--------------|-----|--------|-----|
| 米寿者 | 日除 | 藤田興根夫 | 八八歳 |
| | 百合谷 | 花岡オヨシ | 八八歳 |
| | 横通 | 石井トキヨ | 八八歳 |
| | 神納 | 山本ヲキワ | 八八歳 |
| | 国木 | 古野 清武 | 八八歳 |
| 高齢者（九十歳以上の方） | 上大成 | 富永ヲチエ | 九七歳 |
| | 赤ケ滝 | 新 徳太郎 | 九一歳 |
| | 三久保 | 小西 ヒイ | 九〇歳 |
| | 横山 | 新田宗太郎 | 九八歳 |
| | 横山中 | 向井ミツエ | 九三歳 |
| | 横山中 | 宗野イチヨ | 九二歳 |
| | 宮谷 | 有友喜代次 | 九〇歳 |
| | 日除 | 松下ヨミエ | 九〇歳 |
| | 川上 | 五頭ツルヨ | 九一歳 |
| | 川上 | 本門フジエ | 九三歳 |
| | 名場連 | 田丸ミドリ | 九〇歳 |
| | 中居 | 山本コナミ | 九〇歳 |
| | 栄 | 北地 都 | 九〇歳 |
| | 横通 | 山本 新吉 | 九〇歳 |
| | 神納 | 佐伯 キク一 | 九〇歳 |
| | 神納 | 田邊サカエ | 九〇歳 |
| | 長崎 | 兼本 義春 | 九〇歳 |
- また、河辺村最高齢者の佐伯キク氏のご長寿を記念して愛媛県と河辺村から住居を訪問し心からお喜び申し上げます。記念品の贈呈を行いました。

御礼まごころ銀行

平成五年一月から平成五年十月までに、河辺村社会福祉協議会のまごころ銀行に対し「香典返しにかえて」と次の方々から多額のご寄付をいただきました。（敬称略）

- | | |
|-----|-----|
| 智葉 | 佳明 |
| 藤田 | 嘉誠 |
| 細井 | 愛子 |
| 井上 | 一 |
| 上久保 | 定夫 |
| 田中 | 章子 |
| 渡辺 | 忠喜 |
| 柴田 | ユキ子 |
| 力石 | キミエ |
| 石浦 | キミエ |
| 富永 | 一 |
| 佐伯 | 武文 |
| 小西 | 茂則 |
- 寄付金額 四四〇、〇〇〇円
- 各位のご芳志に対し、厚くお礼を申し上げます。

役員紹介

☆教育委員（十月一日）
委員 和氣 満

スポーツの秋 運動会

各分館の老若男女が一堂に集い、第二十九回村民運動会が、十月十日、河辺中学校グラウンドにおいて開催され、終日、楽しくなごやかな雰囲気です。

松本吉久運営委員長の開会宣言の後、大野富士男大会長のあいさつ、北川照正議長から激励の言葉を頂き、大伍分館柴田学選手の力強い選手宣誓で競技を開始しました。

今回、新規種目として、職域バラエティリレーが、一チーム五人編成、九チームが参加して行われました。これは、走力に関係なく、どのチームにも勝つ可能性があるよう



〈大伍分館三連覇〉

に意外性を加味し、参加枠の拡大をねらって新たに実施されたものです。結果は、消防団チームが優勝しました。

その他の種目では、毎年、団体種目で長なわとびをしていましたが、今年是对抗種目に変更しました。最初植松が二十五回跳び、プレッシャーをかけたのにもかかわらず、次に、坂本が挑戦して三十回跳んで、見事にプレッシャーをはねのけて、その後には挑戦した大伍・北平をも上回り、その結果、坂本が一位となりました。

例年、最後の綱引きの種目まで接戦が展開されるわけですが、今年も、二位以下の分館に大差をつけて大伍分館が三連覇しました。

大伍分館は、高齢化・過疎化が顕著に現れている地区ですが、このような成績が残せたのは、分館全員の団結によるものだと思います。このことは、スポーツだけでなく、あらゆることに通じます。

今年の運動会は、その意味で、大変意義のあるものでした。

去る十月三日河辺小学校運動会が開催されました。天気が心配され、午後からばらばらと雨が落ちてきましたが、なんとか全日程を消化することができました。早朝よりご家族や地域の方々、来賓の方々、大勢ご観覧くださり、子どもたちの競技に温かいご声援ご激励を頂きまして、本当にありがとうございます。

子どもたちは自分達で決めた「ファイト/仲よく元気に最後まで」のスローガンのもとに、一生懸命競技しました。徒走、ダンス、バラエティ

九月二十四日、雨で順延となりましたが、河辺中学校体育大会が行なわれました。

今回は第二十回という記念すべき大会で、『響け鼓動燃やせ闘志 今こそ完全燃焼』をスローガンに、さわやかな秋の一日が始まりました。

全校生徒四十七名による準備体操に始まり、整理体操まで、全二十種目ありました。

三番借り物競争では、「好みの男性」を引いた子とうれしそうに走る男性教員、「美人」とよばれて、我先に飛び出したお母さん、「ひげをは

走、団体競技、応援合戦等の競技も子どもらしい真剣さにあふれ、すばらしい内容でした。それぞれの学級の子どもたちと教師とが一つの目的に向かって全力でがんばった結果だと思えます。九月十日以降、わずかに二週間あまりの練習でしたが、共に助け合い、励ましあつて、よりよいものになしようと努力してきました。これは教科の学習だけでは味わうことのできない

小学校



〈どちらも負けるな!〉

やした人」を引いて、途方にくれる子もいました。

五番は扇子踊り。河辺の伝統的踊りを、中学校でアレンジして全校生徒で踊りました。

九番には、今年の新種目、

中学校

騎馬戦がありました。団体戦が終わり、個人戦の一騎打ちです。闘争心むき出しでぶつかる男子生徒たち。何とかけがをせずに終えてホッとしました。

また、PTAの方々には、



〈アア…取られる!〉

数多くの種目に参加して盛り上げていただきありがとうございました。

スポーツ大会バドミントン(冬管内制)

○郡大会

愛媛スポーツ祭'93喜多郡大会が、九月五日長浜町で開催され、本村からは、バレーボール男子、バレーボール婦人一部、ソフトボール、バドミントン男・女が出場し、この大会でバドミントン女子が、難敵をことごとく退け、優勝しました。

決勝戦相手の長浜は、昨年と同じ顔合わせで、それこそお互い手の内を知り尽くしていることもあってか、河辺チームの選手達は、やりにくそうでした。

第一セット、第二セットと



〈バドミントン女子ヤツタネノ〉

もに分け合って、シングルルスで手に汗を握る試合をした末に、勝利の栄冠を納めました。

○八幡浜地方大会

愛媛スポーツ祭'93八幡浜地方大会のクロックケーが十月五日に大洲市で開催され、河辺村から、大伍老人クラブの方々が出場し、結果は一勝一敗一引分けでした。

十月十七日にはインディアカ・ターゲットバードゴルフ・バドミントン女子の試合が、八幡浜市で開催され、インディアカは、善戦及ばず、二戦全敗。ターゲットバードゴルフは、大野盛喜さんが、ホールインワンをし、スコア八十四で、河辺では、トップでした。特筆すべきは、バドミントン女子で、三崎、大洲A、大洲Bと対戦し、いずれも接戦の末、勝利し、見事に優勝しました。

バドミントン女子においては、県大会出場へ向け、まず一回戦突破を目標に練習に励まれることを期待しています。

郡中学校総合体育大会出場

十月五日、喜多郡中学校総合体育大会が行なわれ、河辺中学校からも、野球部、バレーボール部が参加した。

バレーボール部は、予選リーグで、他をよせつけず快勝し、決勝戦では、五十崎中と対戦した。

決勝戦、第一セット、精一杯がんばってくれるも六一―五で取られる。第二セット、後半、五十崎中にもり返されるも十五―十三で押し切る。そして、セットカウント一対

一で迎えた第三セット、勝っても負けても悔いの無い様、精一杯がんばってほしい。

コートにいる六人、それ以外の控えの八人、そして学校で応援してくれている三年生四人、観客席で応援してくれている方々、今までたずさわって頂いた方々すべての思いが一つとなつて、最後の一打まで精一杯がんばってくれました。結果、第三セットは、五一―十五で取られ、準優勝という結果になりましたが、それ以上の何かを

小学校陸上・川上郡大会出場

十月十四日に川上地区陸上競技大会、二十一日に喜多郡陸上競技大会が行なわれました。今年は雨の日が多く、十分に練習ができない種目もありましたが、選手は自分の持っている力を出し切ってがんばりました。

川上地区陸上競技大会では六位までの入賞者が延べ十九人。男子六十メートル走で大見義徳君、男子百メートル走では松下亮くん、女子走り高跳びで佐伯優子さんが優勝し

つかんでくれたと思います。野球部は、一回戦大瀬対川との勝者との試合です。四対〇で大瀬が勝ち、いよいよ河辺対大瀬の試合です。立ち上がりのかたさが出てしまい、初回から苦しい試合になり、結局十二対〇で負けてしまいました。来年の総体では、この雪辱を果たしたいと思えます。

十月二十一日には総体陸上の部が行なわれ、二年生梅木千穂さんが、六月の大会に続いて幅跳びの二連覇を果たしました。他の種目でも、三位四人、五位二人、六位一人が入賞を果たしています。

ました。どの子も自分の記録に挑戦し、満足のいく記録が出せたのではないかと思います。この大会で三位までに入ると二十一日の喜多郡陸上競技大会に参加することができます。

喜多郡陸上競技大会は二十一日大瀬中学校グラウンドで行なわれました。本校からは、大見義徳君、松下亮君、角藤昭文君、富永文明君、佐伯優子さんが参加しました。結果、男子百m走で松下亮君が四位

(十四秒八)、女子走り高跳びで佐伯優子さんが二位(一一m二十五)という記録を出すことができました。佐伯優子さんは十一月六日に行われる県大会にも出場することが決まりました。

ここに名前の出た子ばかりでなく、どの子も遅くまでの練習をがんばり、自分の出せる力に挑戦することができました。このがんばりは、いつか自分自身の役に立つことでしょう。

秋の全国交通安全運動実施

「ゆずられて 今度はゆずる さわやか運転」をスローガンに、秋の全国交通安全運動が九月二十一日から三十日の十日間行われました。

- 運動の重点は、
- 一、高齢者の事故防止
- 二、シートベルト着用用の徹底
- 三、違法駐車締め出し
- 四、交通マナーアップ運動の推進です。

村では、この重点目標に沿って、交通茶屋、高齢者教室を行ないました。

交通茶屋では、大洲交通安全協会河辺支部と交通指導員の皆さんが、かわいい「ミニわらざうり」とチラシを配って交通安全を呼びかけました。



〈交通安全してますか？〉

また高齢者教室では、大洲警察署交通課の往田憲治係長を講師に迎え、高齢者の交通安全について講演をしていただきました。出席されたお年寄りの方も熱心に聴き入っており、講演の後もたくさんのお質問が出るなど、たいへん有意義な高齢者教室となりました。

最近の事故の特徴としては、交差点の事故、追突事故、雨の日の事故などが多く発生しています。

運動期間は終わりましたが、これからも歩行者、運転者の皆さん一人一人が、正しいルールとマナーで交通事故のない、明るく安全な地域づくりに努めましょう。



〈熱心に聴かれていました〉

かんぼ 健康増進支援事業

成人病セミナー十一月十日(水)開催

簡易保険事業団では、簡易保険の加入者が保養センター等の加入者福祉施設を利用する等により、加入者の福祉増進を図ることが出来るよう施設の設定、運営を通じた加入者福祉サービスを三十年以上にわたって実施し、大変好評をいただいております。

本年度からソフト面での新しい加入者福祉サービスとして「かんぼ健康増進支援事業」を行う事になりました。

「かんぼ健康増進支援事業」は、加入者の福祉の増進を目的とする公益法人が行う加入者の健康の保持増進のための活動に対して助成金の支給を行うものであり、加入者の健康で幸福な長寿に資することを目的としています。

- 平成五年度の助成対象事業については、次の通りです。
- (一)成人病等予防事業 三九五件 四億三、一〇〇万円
- (二)介護支援事業 一六七件 二億四、六〇〇万円
- (三)健康づくり事業 七七七件



講師 高須賀先生

八億二、三〇〇万円

さて、本村においても、村ご当局のご理解とご協力により、来る十一月十日(水)、「河辺村ふるさと宿」において「かんぼ成人病予防セミナー」を開催することとなりました。このセミナーは、河辺村と肱川町の後援により、簡易保険加入者協会が行うもので、簡易保険加入者の皆様多数のご参加をお願いすることとしております。当日の内容は、日本赤十字社愛媛県支部から高須賀紀子先生をお迎えして、「老年期の理解と老人に起こり易い病気と看護」についての講演があります。午後は、介護の実技指導をして頂くことになっております。これから増加していく高

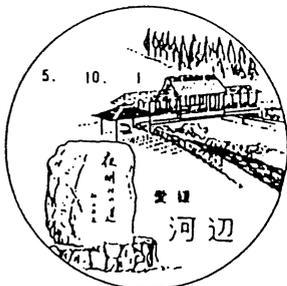
齢者に暖かい介護は欠くことの出来ないものです。

また、会場において、介護用品の参考展示を行いますので、この機会にぜひご覧になって下さい。(詳しくは郵便局へお問い合わせ下さい。)

オリジナル

通信日付印 使用開始

河辺郵便局では十月一日(金)から「坂本龍馬脱藩の道」にある「夜明の道記念碑」と、えひめアメニティ賞を受けた、ふる里公園の一部にある、「屋根付橋」を描いた風景入通信日付印の使用を開始しました。ご希望により押印することになっております。村内の「シンボル」としても広くご利用下さい。



〈風景入通信日付印〉

わ べ か

ヤングパワーに期待 成人式

平成五年度の成人式が、去る八月十四日に行われまし
た。今年の新成人は二十九名
で、当日の出席者は約半数の
十四名でした。

午前十時からの式典では、
成人者の皆さんは少し緊張ぎ
みのようでした。私も自分の
成人式の時の緊張感を思い出
してしまいました。成人者一
人一人に記念品が贈呈され、

村長による式辞、来賓の方々
から激励のこたばをいただいた
後、成人者を代表し、福宮
ひかるさんが謝辞を述べまし
た。緊張した様子はなく、とて
も落ちついていました。

式典が終わり、続いて記念
撮影後懇親会が開かれまし



〈夢に向かって進んで下さい〉

た。懇親会ではまず、成人者
の皆さんが、氏名や今住んで
いる所、勤務場所、仕事の内
容や学校生活などについて、
簡単な自己紹介をしました。
自己紹介を聞いてみると、働
いている人がほとんどで、学
生はあまりいないようでした。
皆さんそれぞれの場所ので
頑張っているということがよ
くわかりました。
自己紹介が終わると、いよ
いよ会食となりました。成人
者の皆さんもここでやっと安
心したようで、なごやかな雰
囲気の中で食事は進みまし
た。気分はまるで中学時代に
もどったようで、会場では昔
話に話がはずんでいました。
それにしても同級生というの
は不思議なものです。同級生
には、他の誰にも立ち入るこ
とのできない何かがあるよう
な気がします。
成人式を迎え、成人者の皆
さんは自分なりに決意したこ
とや感じたことがあるかと思
います。その気持ちを大切に
して、夢の実現に向かって、
ヤングパワーで頑張ってください。

ふるさとまつり

河辺村の恒例と
なった夏のイベント
「ふるさと祭り」が
八月十四日、ふるさ
と公園において催さ
れ、帰省された人々
と共に、村民が一体
になり、にぎわいを
見せた一日でした。

昨年は、午前中雨、
午後から晴れるとい
う主催者としては、やり切れ
ないような天候でした。今年
は、降りそうで降らないと言
う中準備を始め、午後三時か
ら夜市、四時からカラオケ大
会予選がスタートし、二十一
名の出場者がそれぞれ、お得
意の歌を熱唱され、五名の方
が決戦大会に進まれました。

プロ歌手の西崎みどりさ
ん、沢田二郎さん、中山智沙
さんの審査する中、堂々と五
名の方が歌唱力を競われた結
果、大洲市の滝本きよえさん
が最優秀賞に輝きました。

納涼盆おどり大会では、河
辺村の伝統芸能の扇子おどり
が優雅に踊られ、昔をなつか
しめた方もおられたのでは
ない？続いて、里帰り客と共に
輪になって盛況だった河辺音
頭。小さな子供が、見ぶり手
ぶり踊る姿は、何ともかわい

いものでした。

河辺音頭で祭り気分が盛り
上がった後は、歌謡ショー。
中山智沙さん、沢田二郎さ
ん、そして最後の取りは、テ
レビの必殺などに出演され
た、西崎みどりさん。鮮やか
な着物や、踊りで楽しませて
くれました。

祭りのフィナーレは、昨年
から復活した花火です。河辺
の花火は、ちようと違いま
す。腹の底にズシリとひびく
あの音。間違っても口をあけ
て見ているいけない頭上の花火
は最高です。

カラオケ大会の入賞者は次
のとおりです。(敬称略)

- 最優秀賞 滝本きよえ(大洲市)
- 優秀賞 森岡 千景(肱川町)
- 熱演賞 尾崎加代子(松山市)
- 清水 照義(大洲市)
- 久保 政善(大洲市)



〈熱唱されました〉

マイホーム資金は「年金住宅融資で」!

利用できる方 現在厚生年金
保険の加入者で、加入期間
が三年以上ある方(国民年
金保険料納付済期間を含
む)

資金の使いみち 新築住宅・
マンション・建売住宅・中
古住宅の購入および増改築
などの住宅改良資金
融資金額 所要資金の八十%
以内で最高二千二十万円ま
で

融資利率 年四・三二%
(一般貸付)

但し、第一回受付時(平
成五年十一月一日から変動
することあり)
返済方法 元金均等返済、元
利均等返済の選択ができま
す。

返済期間 住宅の種類により
五〜三十五年

受付期間 平成五年十一月一
日〜平成五年十一月十九日
まで(予定枠に達しますと
締切ります)

詳しいことは、愛媛県年金
福祉協会(TEL〇八九九一
四一一七六七)へおたずね
下さい。

健康だより

「子供の健全育成と食」

今年度の検診も、診療所検診を残すのみとなりました。今年度は、たくさんの方々には検診を受診していただき、みなさんの健康意識の高まりを感じることができました。

先日ちよつとひと息ついた時に読んだ新聞の中に、子供を育てる親としては、シヨックなことが書かれていましたので、御紹介いたします。

「食の乱れは心の乱れ」

親がいかにかに子供をかわいがり、手をかけているようにみえても、家庭内暴力とか少年非行等々親の手におえない社会問題も多く、子供をいかに育てるかは、なかなか難しい時代となってきました。

物の豊かさに慣らされた今日、食事が子供の感性や情緒発達、健全育成の基本であるといった認識が社会全体を通じて欠けているように思われがちなりません。

非行児の食生活は例外なしに朝食を食べない、家で食事をとらないで専ら外で、ス

ナック、インスタント食品ばかり食べている、この食の乱れが心の乱れを生み、そして非行に通じているように思われます。

「子供の心を育てるために」

次に子供の心を育てるための方法として、①食事は家族そろって楽しく。②基本的な生活習慣を身につける。③早寝早起きのリズムをととのえる。④幼児期から家事や調理体験をしつかりさせる。⑤自分で野菜を作るなど体験の積みかさねが大事です。よく「しつけとは親が子に働きかけること、言ってみれば姿勢で示せ」と言われます。例えばお母さんが、調理熱心で食事づくりがうまくいくことは、それ自体子供への立派な教育ではないかと思えます。

— 日本栄養士会会長

藤沢良知より—

幸い河辺村にはファーストフード店もなく、手をぬきたいなと思っても、何かは自分で作らなければなりません。これが、子供の教育につながるものであれば、おいしくてバランスのよいものを作りましょうと思つた食欲の秋でした。

(保健所 本山 薫美)

年金フロンティア

国民年金制度 推進月間

十月及び十一月は、「国民年金制度推進月間」です。

現在、我が国では、諸外国にも例を見ない勢いで、人口の高齢化が進行しています。このような状況のもとで、安心して第二の人生を過ごすため、又、充実した老後の生活を送るため、所得保障としての公的年金制度に対する関心が高まっています。

老後の所得保障を行うことはもちろんのこと、障害又は死亡により所得の損失のあった若年層、中高年層にも年金を支給し、安定した生活の維持を側面から支援します。

又、納められた保険料は将来の年金支払の資金だけでなく、病院、簡易水道、ゴミ処理施設等の建設資金として融資され、皆様の日常生活の向上のため還元されています。今や、老後の所得保障だけでなく、国民生活の多方面に密着した国民年金制度です。

秋も一段と深まり山の木々も徐々に色づきはじめ、もう間もなく見事な紅葉が見られると思います。河辺村ではどうでしょうか。

私が故郷「河辺村」を離れて、はや四十年近くの歳月が流れま

村を離れてからも、仕事の関係で、役場等の方々には大変お世話になっております。

さて、つい先日、会議で、ふるさとの宿を利用する機会がありました。以前にも何度か利用したことがありましたが、当時は、宿泊施設のみに周辺のふるさと公園は整備されておらず、その発展には、目を見張るものがありました。

山村地域では、農林業の不振、過疎化、高齢化等の問題で、苦勞されていると思います。



ふるさとに望む

御荘町 竹内 博
(横山出身)

そんな中で、河辺村の自然を存分に生かしたふるさと公園とふるさとの宿で、多くの都会の人に、大自然とふるさとのよさを体験してもらおうような積極的な施策を展開されていることに敬意を表します。

現在、道路改修等の基盤整備がさかんに行われ、昔と比較してもずいぶん便利になった反面、路線バスが廃止になるなど逆に不便になった面もありました。

開発だけでは、発展は難しいと思います。いろいろな意味で、関係者の方々に望みます。

いろいろなことを書きましたが、今後は、休日などに、村内に所有している山林の手入れも兼ねて、ゆつくりと河辺村探訪をしてみたいと思っております。

診療所だより

梅雨、台風と雨の大変多い涼しい夏が過ぎ、秋になったかと思えば早くも朝夕冷えこんできました。稲刈り、栗拾いと、みなさん忙しい日々がつづいていることと思います。季節のかわり目であるためか、体調をくずされている人が多いようです。かぜもはやっているようなので、気をつけて下さい。

「かぜは万病のもと」と昔からいわれてきたように、かぜはいろいろな病気の最初の症状である場合があります。また、吐いたり、下痢したりの消化器症状や、子どもでは高熱でひきつけをおこしたり、中耳炎、肺炎、髄膜炎がひきおこされることもまれにあります。

予防のためには、外出後のうがい、手洗いをおこない、疲れたら十分に休息をとるなどが必要ですが、また、インフルエンザには予防接種があります。もしもかぜをひいてしまった時は、安静にし暖かくして、熱さまし、痛みどめ、咳止めの薬などを飲みます。合併症をおこさなければ、約一週間でなおると思います。

超音波検査 とは？

エコー検査ともいいます。体の外から病気がうたがわれるところに超音波を放射すると、臓器の境界で超音波が反射する性質を使って、体の内部を画像に表示して病気を診断することができます。

心臓の内部の状態、動き、肝臓の大きさ、内部の状態、肝炎や肝硬変の状態、腫瘍の発見、胆管(胆汁の流れる管)の状態、胆石の有無、膀胱、

腎臓の病気などを調べることができます。

また、レントゲンの検査のように放射線の被曝の心配がないので、産婦人科でも胎児の状態を知ることができます。

超音波は空気と骨は透過しにくいので、肺、胃、腸や骨の部分はまだ検査できませんでした。内視鏡(胃カメラ)と超音波をくみあわせた超音波内視鏡という検査で、食道や胃などの病気の内部がわかるようになります。

糖尿病Q&A

Q1 糖尿病とは？
A1 血液中の糖(血糖)の量が異常に多くなる病気で、インスリンというホルモンが不足したり、働きが低下したりすることで起こります。

Q2 糖尿病だとなぜ困るのだろうか？
A2 糖尿病の初期には自覚症状があまりないことが多いのですが、血糖が高い状態が長く続くと、身体の中にいろいろな障害(たとえば、眼底出血、腎臓病、神経障害、動脈硬化の促進など)を合併するようになることが恐ろしいのです。

Q3 糖尿病を防ぐポイントは何か？
A3 肥満、過食、運動不足、ストレスなどは、糖尿病を誘発する生活習慣です。体重を標準体重に保ち、暴飲暴食をせず、運動(日に30分以上の歩行)をし、ストレスをためないようにすることが予防に大切です。

☆眼に関する一口メモ

☆眼脂(めやに)

「めやに」は結膜、眼瞼(まぶた)角膜の病気などのときにみられますが、特に結膜炎の症状の一つです。「めやに」は次の成分からできています。

- ① 涙液 ② 結膜、角膜から脱落した細胞 ③ 血管からしみだしたもの ④ 微生物やゴミなどの異物

正常の場合でも、朝起床時についているときがあります。病気ときは、起床時だけでなく、また、量も多くなります。

☆飛 蚊 症

眼前に蚊などの虫や小さな黒い物体がチラチラ浮遊しているようにみえる現象です。

感染症情報

① インフルエンザの流行を防止するため、今年もインフルエンザ予防接種が実施されます。

② 国際化社会の現在、海外も身近なものとなり、海外旅行に出かける人も増加しています。それに伴い、海外から感染症をもちかえる例も増えています。病気の輸入を防ぐため、入国时必须検査がおこなわれています。入国のとき正確に申告するとともに、帰国後に体調が悪化したときは受診のときに海外旅行をしたことを医師に伝えるようにして下さい。

③ 手足口病は全体的に発生していますが、減少傾向です。かぜ症候群、乳児で高熱、咳を伴うものは注意して下さい。

溶連菌感染症、全体的に散発しています。異型肺炎、散発しています。嘔吐下痢症、まだ増加の傾向はありません。

目の中の硝子体というところに硝子が網膜に影をおとして生じます。硝子体の出血などの病気で起こることがありますが、生理的に、硝子体の中に少しの硝子体があることがありますが、普段は気づかなくても陽光のふりそそぐ明るい白壁をみたときなどに、気がつくこともあります。

ありがとうございます

この度、河辺村大字河都、亀岡登さんより、図書室に約千二百冊の本を寄贈していただき... 厚くお礼申し上げます。日本文学、推理小説、医学関係など、さまざま分野の本をいただきましたので皆さんご利用下さい。

読書の秋です。秋の夜長を讀書で過しませんか。尚、図書室に購入希望の本がありましたら、今後、購入時の参考... 公民館までお申し出下さいます様お願いいたします。

おめでとうございます

八月二十三日、長浜町で喜多郡公民館研究大会が開催され、坂本分館長宮本吉生さんが優良職員として表彰されました。おめでとうございます。今後ともよろしくお願います。

世界エイズデー

一九八一年にアメリカで初めて症例が報告されて以来、エイズ患者は増加の一途をた

どり、七十万人を超えている。こうした中、平成五年十二月一日から七日までの間「地域・学校・職場でもエイズ予防に取り組もう」をテーマに「愛媛エイズ予防週間」が行われます。エイズに関する正しい知識を普及啓蒙し、患者・感染者に対する差別を根絶するため、多くの方のご理解、ご協力をお願いします。

同和教育シリーズ

(47)

子どもの権利条約

去る八月十四日の新聞

に、比で敗走の旧日本軍「同行邦人の子供二十一人虐殺」という傷ましい記事が掲載されたのは、皆様方の記憶に新しいことと思

います。当時の米軍の調査によりますと、この虐殺の理由として部隊指揮官は、「子供たちが泣き声を上げたりすると敵に所在地を知られるため」と供述しています。子供を権利を持つ主体としてとらえ、すべての子供たちに生存の権利(生きる権

短

老いて独り術後のリハビリ懸命に 励める姉を自覚めて思う

生き甲斐の歌道はけわし老いてなを まとまらぬ日目を悲しく思う

仄紅き溝蕎麦咲きて稲架ふく 風も野分けに変わりゆくらし

訃を知りて人の生命のはかなさを 限りありしと思えど哀し

髪染めし吾の後に寄り添いて 孫の教える残りし白髪

点滴をうつ病室の静まりて 窓に秋陽の崩れ落ちゆく

歌

上林ヨシ子

大西ミツマ

戸田 薫明

谷本 愛子

清水 菊江

稲森 茂子

消息

自 5.7.11 至 5.10.10

☆末ながくお幸せに

山下 聖 (肱川) 福宮ひかる (国木)

(寿野 正輝 (日其川) 二宮 幸江 (大洲))

☆おくやみ申し上げます

石浦フサ子 神納 80歳 森 良樹 横山中 65歳 力石 美登 川崎 72歳 細井 琴美 露内 79歳 富永 福松 上大成 90歳 熊野 政六 横山中 78歳 佐伯 キク 神納 104歳

編集後記

館報「かわべ」は、一号から名前の「かわべ」という文字、地紋が全く変わっておりませんが、一〇一号では、バツクをうすいブルーでしようと言うことになりました。いかがでしょうか。前号までと比較してください。

前号では多くの誤字、脱字がありました。深くお詫び申し上げます。